

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成28年度病害虫発生予察防除情報第15号

## たまねぎべと病の防除対策について

県内の極早生・早生たまねぎでべと病の発生が確認されました。昨年多発した圃場では、今年も多発生ならびに発生時期の早期化が予想され、今後の気象条件によってはその他の圃場でも多発する可能性があります。発病株は伝染源となりますので、見落としのないよう抜取って処分するなど、下記に留意して防除指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生状況等

- (1) 1月上旬の巡回調査（15筆）の結果、発生を認めなかった（平年発生を認めない）。また、県予察圃においても発生を認めなかった。
- (2) 1月11日の持込による診断依頼において、本病の発生が1件（諫早市）確認された。
- (3) 1月16～18日に臨機調査（諫早市：23筆）を行った結果、発生圃場率は21.7%であった。発病が確認された圃場の作型は、ほとんどが極早生・早生で、生育が比較的進んでいた。また、確認された発病株は典型的な越年罹病株の症状とは異なり、春先に発生する二次感染株のような病徴を呈していた（写真1、2）。

#### 2. 防除対策

- (1) 圃場の見回りを例年より早い時期からこまめに行い、発病株（越年罹病株）を発見したら早急に抜き取り、圃場外に持ち出して適切に処分し、直ちに薬剤散布を行う。抜取った株は圃場内でむやみに持って回らず、その場で直ちに袋等に入れ、胞子を周囲に撒き散らさない。
- (2) 病勢が進行すると防除困難となるので、早期発見・早期防除に努める。
- (3) 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。



写真1 確認された発病株



写真2 胞子を形成

【越年罹病株の特徴】

- ・葉身が外側に向かって湾曲している
- ・葉色は健全葉と比較して褪せたような色をしている（黄色味を帯びている）
- ・周囲の健全株に比べて生育が劣っている
- ・気象条件によっては胞子を形成している場合がある



写真3 越年罹病株



写真4



写真5 発病株に認められる標徴  
(べと病菌分生子)

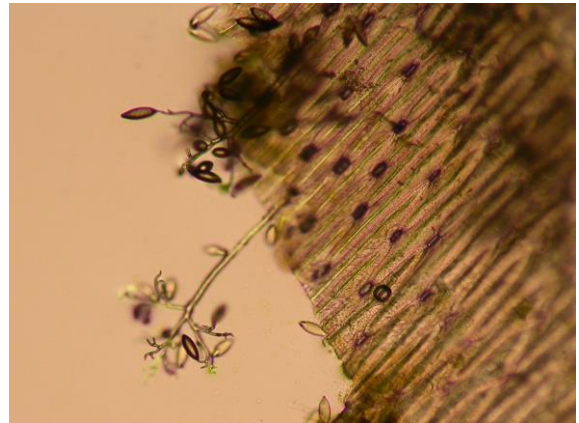


写真6 顕微鏡で観た分生胞子

- 長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
- この情報に関するお問い合わせ  
長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

